

「防災スペシャリスト養成」企画検討会 報告書 (平成31年3月)

1. 研修体系の見直し・検討

■ 有明の丘研修の講座の見直し

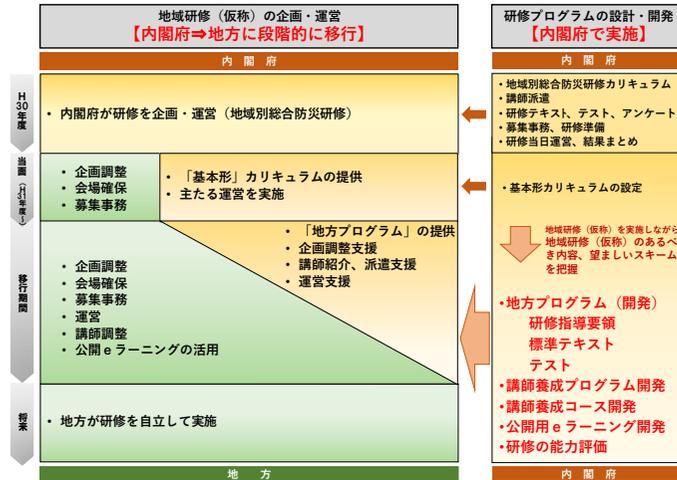
「有明の丘研修(第1期・第2期)」の実施に向けて、昨年度の研修結果や災害対応上の課題や教訓等を踏まえて講座の見直しを行った。

■ 地域別総合防災研修の見直し

昨年度に整理した地域別総合防災研修の課題への対応について、改善事項が今後の見直し事項かを検討した。改善となった事項は、今年度の地域別総合防災研修で改善した。

■ 今後の研修のあり方の検討

これまでの「有明の丘研修」及び「地域別総合防災研修」の過去の研修成果や課題等の整理・分析を通じて、次年度以降、より効果的な研修を実施するために、今後の防災スペシャリスト養成研修のあり方について検討し、地域研修(仮称)の実施方針、基本カリキュラム、実施方法の骨子を検討した。



来年度以降の地域研修(仮称)の進め方のイメージ

日程	時間	単元	手法	有明の丘研修コース	
				① 防災基礎	② 災害への備え
I 前日	9:15~9:30	オリエンテーション	座		
	9:30~10:45	1. 防災行政概要 (75分)	座	②	
	10:55~11:40	2. 災害法体系(45分) 防災計画(45分)	座	③	
	13:25~14:40	3. 地域の災害特性	座	④	
	14:50~17:30	4. 災害対応過程と態度を学ぶ内容(150分+10分休養)	演	⑤	
II 当日	9:30~10:40	1. 避難訓練の総括 (70分)	座	⑥	
	10:50~12:00	2. 被災者支援の総括(1) (災害法と避難生活支援) (70分)	座	⑦	
	13:00~14:10	3. 被災者支援の総括(2) (仮設住宅と生活再建支援) (70分)	座	⑧	
	14:20~16:30	4. 災害対策本部における対応 (120分+10分休養)	演	⑨	
	16:40~17:30	5. 全体討論(ふりかえり) (50分)	演	⑩	

地域研修(仮称) 基本カリキュラムの考え方のイメージ

2. 研修指導要領及び標準テキスト等の整備

■ 平成30年度版「研修指導要領」の整備

第1期では「確認テスト」を通じて、第2期ではeラーニングの教材開発を通じて、「研修指導要領」の見直しを行った。また、「有明の丘研修(第1期・第2期)」の各コースの構成に合わせて、期ごとに「研修指導要領」を作成した。

■ 標準テキストの整備

「有明の丘研修(第1期・第2期)」の見直し結果に合わせて標準テキスト及び総論の標準テキストを修正した。

3. 知識体系の整備

本検討会での検討の基礎資料として提供した。今年度は、知識の体系に影響を与えるような大きな見直しはなかった。

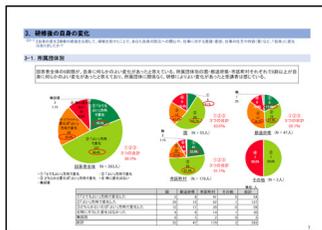
4. 能力評価(個人/組織)の仕組みの検討

「ADDIEモデル」とカークパトリックの「4段階評価モデル」を組み合わせた「研修の評価・改善の体系」に基づき、「防災スペシャリスト養成研修」の能力評価に向けた調査として、研修受講後の実態調査を実施することとし、レベル3として修了者へのアンケート及びヒアリング、レベル4として組織へのヒアリング調査を行った。

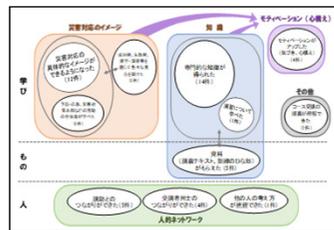


「防災スペシャリスト養成研修」の効果を把握するための評価手法(レベル3,4)

研修の評価・改善の体系に基づく評価手法の選択



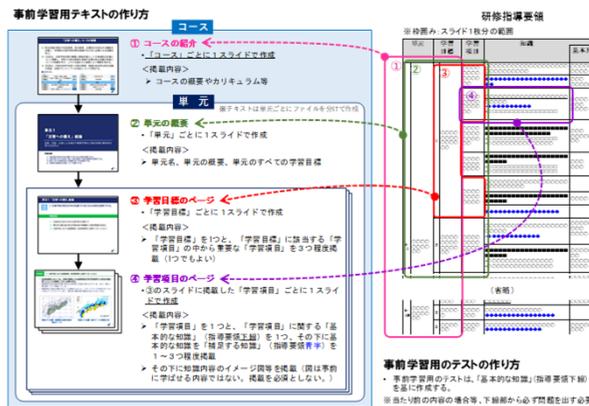
アンケート調査結果



変化を促した要因と思われる事項

5. eラーニングの開発・運営

「eラーニングの運用に向けた基本方針」を踏まえ、「有明の丘研修(第1期・第2期)」において、eラーニング「事前学習」を実施(試行)した。実施に向けては、昨年度の課題を改善するとともに、「研修指導要領」と整合するように教材(テキスト・テスト)を作成・改善した。



eラーニングのテキストと研修指導要領の関係

6. 人的ネットワークの活性化

昨年度の人的ネットワークの構築状況に関するアンケートの結果を踏まえ、人的ネットワークの活性化の方策について検討し、名刺交換会や演習時の班メンバーの入れ替えなどの取組みをコーディネーターの考えに沿って「有明の丘研修(第1期・第2期)」で実施した。

7. 課題と今後の検討

今年度の有明の丘研修等や企画検討会での検討を通じて捉えた問題や課題について、次年度以降も引き続き検討することとした。

＜今後の課題＞

1. 研修体系の見直し・検討
 - 1-1. 研修指導要領及び標準テキスト等の整備
 - 1-2. 能力評価(個人/組織)の仕組みの検討
 - 1-3. eラーニングの開発・運営
2. 人的ネットワークの活性化
3. 知識の体系の整備